

大川市議会だより

令和6年11月1日 第210号

●編集 広報委員会

●発行 大川市議会 TEL 85-5622(直通)



10月12日(土)から14日(月・祝)に第73回大川木工まつり2024が開催されました。

【第4回定例議会のあらまし】

9月の定例議会は、9月2日から9月20日までの19日間の会期で開催しました。

この定例議会では、継続審査議案1件、市長提案の報告3件、条例議案1件、決算認定議案6件、予算議案2件、その他5件を審議しました。

初日に、工事請負契約の締結、人事案件等について、審議しました。また、継続審査となっていた懲罰事件の中間報告を行いました。

5日に、一般質問を行い、終了後に決算特別委員会を設置し、各委員会に議案を付託しました。

9日に各常任委員会を、11日に決算特別委員会を開催し、付託案件を審査しました。20日に、懲罰特別委員長、各常任委員長及び決算特別委員長から審査の経過及び結果報告を受け、審議しました。

9月定例議会のあらまし

一般会計補正予算を可決

決算特別委員会

5年度一般会計決算を認定

一般質問

6人の議員が市政を問う

・・・2

・・・5

・・・8

公職選挙法の規定により議員の寄附行為・時候の挨拶状・中元・歳暮などは禁止されています。

第4回定例議会

報告された案件

次の案件はいずれも報告とおり

了承されました

○専決処分の報告

(市道側溝補修による車両破損に係る損害賠償)

○専決処分の報告

(交通事故による公用車の損害賠償)

○大川市健全化判断比率及び資金不足比率の報告

審議された案件

次の案件はいずれも提案どおり

可決されました

○福岡県後期高齢者医療広域連合規約の変更について

○工事請負契約の締結

(庁舎大規模改修工事)

人事案件

9月定例会において、次の方の選任(推せん)に同意しました。

◎人権擁護委員候補者

野田 洋子 (大野島)

次の案件は提案どおり

同意されました

○人権擁護委員候補者の推せん(人事案件欄をご覧ください)



委員会審査

総務委員会

付託された案件は

提案どおり可決されました

6年度一般会計補正予算

(第4号)

562万4千円増額

予算総額197億1千293万7千円

今回の補正は、歳入歳出予算及び債務負担行為の補正であり、その概要は次のとおりです。

○民生費 生活保護システム改修業務委託料342万4千円
○教育費 文化センター施設工事費220万円
○債務負担行為 藩境のまちリノベーション補助金 6年度から7年度までの500万円を追加

問 文化センター施設工事費の内容は。

答 文化センターの空調設備機器の空冷チラー循環ポンプ機5基のうち1基が故障しており、現在のところ、十分稼働してはいますが、今後の安定的な稼働を考え、取換工事を行います。

問 債務負担行為の補正に関し、藩境のまちリノベーション補助金の内容は。

答 小保・榎津藩境のまちにおいて、空き家を大川らしい空間にリノベーションしようとする事業者に対し助成を行うものであり、今年度、事業者を募集していましたが、応募がなく、再度、募集を行うために、来年度中の事業完了が可能となるよう、債務負担行為の設定を行うものです。1件を採択予定であり、複数の応募があれば審査を行い、決定します。

文教厚生委員会

付託された案件はいずれも

提案どおり可決・認定されました

大川市国民健康保険条例の一部改正

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正により、6年12月2日から、健康保険被保険者証が発行されなくなることに伴い、改正を行うものです。

内容は、6年12月2日以降、現行の健康保険証を新規で交付できなくなるため、マイナンバーカードを取得していない方や、マイナンバーカードに保険情報を紐付けしていない方へは、被保険者証の代わりに資格確認書を交付し、すでにマイナンバーカードに保険情報を紐付けしている方には、資格情報のお知らせ文書を交付するものです。



問 マイナンバーカードの中に保険証の機能を入れると便利になるのか。

答 医療機関では、マイナ保険証による受付ができる機械の導入が進んでおり、将来的にはマイナ保険証に統一される方向であるため、できれば早いうちにマイナンバーカードを取得していただきたいと考えています。



5年度国民健康保険事業 特別会計歳入歳出決算認定

歳入45億1千436万4千569円
歳出42億9千434万9千216円
差引残額2億2千1万5千353円

問 出産育児一時金の給付件数が、5年度は4年度と比べて26件から12件と半減している理由は。

答 市全体の妊娠届出数は4年度が166件、5年度は153件で、10件程度の減です。4年10月から社会保険の適用事業所が拡大して、生産年齢人口において社会保険への加入が増えていることも要因の一つと考えられます。

問 マイナ保険証に統一されることにより、保険証や通知の送付にも影響してくと考えられる。郵送料や封入封緘業務等の経費は、一般会計から繰り入れるのか。

答 保険証送付については、郵送代、封入封緘に要する経費など、内容によって、交付金があるものと一般会計から繰り入れるものがあります。基本的に、事務経費は交付金を受けられる分は受けたうえで、受けられない部分について、一般会計から繰り入れています。

5年度後期高齢者医療事業 特別会計歳入歳出決算認定

歳入6億5千202万7千391円
歳出6億4千685万4千487円
差引残額517万2千904円

問 後期高齢者は年齢的なこともあり、徴収の苦勞があるのでは。

答 公平性の観点から丁寧に説明し、理解を得ながら分割でも納めていただくようにしています。また、年金だけで生活している方が大きな病気をされると、普段の生活費以上の金額がかかるため、そのような点も配慮しながら取り組んでいます。



意見 相談に乗れて、所管に関係なく側面からの支援ができる行政であれば、ますます公正公平な対応ができると思う。苦勞はあるかと思うが、口座振替を推奨し、漏れがないようにして、フォローもしっかりお願いしたい。

5年度介護保険事業 特別会計歳入歳出決算認定

歳入40億8千997万9千445円
歳出39億589万7千円
差引残額1億8千408万2千445円

問 年間の介護認定審査判定件数について、5年度は4年度と比べて2倍近く増えている原因は。

答 コロナ禍のときは、感染予防対策として認定有効期間が特例的に延長されていましたが、5年度からは通常に戻して認定を見直すことになり、件数が増えている状況です。

問 認知症予防事業(あたまとからの健康教室)の経費や実施状況は。



答 5年度から、物価高騰に伴い、委託事業所の1・5倍近い人件費増で開催しています。その一方で、利用者がなかなか集まらないという課題があります。良い事業であり、来ていただくと、認知機能やフレイルの度合いが改善され、リピーターにもなりますが、自己負担額500円を負担してまで行きたくないなど、特に男性の参加が少ない状況で、多くの方に参加していただきたいと思っています。

意見 事業成果は十分拝見しているが、事業に来ていただく工夫が必要である。介護予防はコミュニケーションや会話を楽しむことが前提で、男性もいろいろな趣味の延長で、例えば、将棋やトランプなどを開催した後に、事業に参加していただくなどの試みも必要ではないか。



決算特別委員会

問 介護保険保険者努力支援交付金は、予算よりも収入済額がかなり多く上がっていて良いことだが、努力とは何か基準があるのか。

答 努力支援交付金にはいろいろな評価項目があり、大川市がどのくらい実施しているか、全国的にどの位置にあるか、評価点数に応じて支払われるものです。具体的には、国の平均が413点で、大川市は565点であるため、より多く交付金をいただいています。



6年度介護保険事業

特別会計補正予算

1億8千247万8千円増額
予算総額40億3千447万8千円

今回の補正は、介護給付費準備基金積立金及び5年度介護給付費国庫負担金等の精算に伴う返還金に要する経費の補正です。

産業建設委員会

付託された案件はいずれも提案どおり可決・認定されました

5年度水道事業会計決算認定

◎水道事業の経営成績(税抜き)

総収益6億8千317万5千327円
総事業費6億6千278万4千198円
純利益2千39万1千129円

◎資本的収支(税込み)

収入 1億7千149万2千926円
支出 3億9千485万3千219円
収支 △2億2千336万293円

不足額は、当年度分損益勘定留保資金及び建設改良積立金等で補てん

問 近隣市と比較した水道料金は。

答 本市は、水道水の全量を福岡県南広域水道企業団から購入していますが、久留米市や柳川市は、自己水源を持っているため、その分、水道料金が安いのではないかと考えられます。



5年度水道事業会計

未処分利益剰余金の処分

5年度未処分利益剰余金
1億6千7万9千834円

このうち3千431万2千円を建設改良積立金へ、6千854万5千785円を資本金へ、残余の5千722万2千49円は繰越し

5年度下水道事業会計決算認定

◎下水道事業の経営成績(税抜き)

総収益4億9千892万7千828円
総事業費4億4千659万216円
純利益5千233万7千612円

◎資本的収支(税込み)

収入 3億209万6千68円
支出 5億2千321万9千173円
収支 △2億2千112万3千105円

不足額は、当年度分損益勘定留保資金等で補てん

問 下水道整備事業の進捗状況は。

答 第1期計画で386ヘクタールを整備目標値として掲げており、今後を着実に事業を進めていきたいと思っています。

問 水処理センターの増設工事については。

答 6年度から9年度の4か年で13億円程度の予算で整備を行おうと考えており、現在は、日本下水道事業団で土木工事に関する入札を行っている状況であり、今後も予定どおりに、整備を進めていきたいと思っています。

意見

下水道事業が黒字になることは、なかなかないため、一般会計から補填している。今後、新たに下水道整備を進めていく中で、人口減少などにより、水道水の使用量が減り、ますます収益が減ることも予測されるため、将来の計画をしっかりと立てていただき、上下水道とも良い決算ができるように努力していただきたい。

5年度下水道事業会計

未処分利益剰余金の処分

5年度未処分利益剰余金
1億32万7千520円

このうち4千992万2千387円を減積立金へ、4千344万7千579円を資本金へ、残余の695万7千554円は繰越し

付託された案件は

提案どおり認定されました

5年度一般会計

歳入歳出決算認定

歳入 186億5千508万9千円
(前年比1億2千927万4千円減)
歳出 183億1千473万9千円
(前年比3千947万8千円増)
差引残額 3億4千35万円
翌年度へ繰り越すべき財源
8千486万8千円

実質収支額 2億5千548万2千円

交わされた主な質疑は次のとおり

問 大川リビルディング事業において、新たなマーケットの創出や、価値の再発見などによる、これまでの成果と今後の見通しは。

答 市場開拓などについて、事業者の支援を行っており、大川市公式オンラインショッピングサイトの売上げも伸びてきています。

意見 この事業は今後の大川にとって大変重要であり、この中でしっかりと大川のイメージ戦略を行っていただきたい。

問 放課後児童健全育成事業に關し、運営団体の一元化に取り組んだ成果は。

答 6年度から、市内8小学校区の学童保育所の運営団体を一元化し、事務処理や職員を集中管理する事務局を社会福祉協議会に設置しました。支援員等の処遇を改善し、児童に向き合う保育時間と必要な人材を確保し、安定的な運営を目指すものです。成果としては、支援員の処遇改善を行っていたため、人材確保の面で一定の改善ができており、事務処理の集中管理により、現場の支援員の負担軽減が図られ、児童の保育に専念できる環境ができたのではないかと考えています。課題としては、学童保育のニーズが依然として大きい

ため、希望する児童を受け入れられない可能性があり、今後も、希望する児童をできるだけ多く受け入れられるよう努力していきます。また、支援員の交流については、支援員が休暇等を取得して人員が不足することもあるため、そのような場合において、現在、学童保育所間で交流を行っています。

問 河川等水質調査結果及び地下水

水質調査結果の公表の仕方は。

答 年度末頃に市ホームページにて公表しています。地下水については、各校区の地下水を一か所ずつ検査し、住民に周知すべき場合は、その行政区の区長並びに検査地点から半径300メートル程度に入る地域の住民にチラシを配布し、調査結果の報告と注意を促す広報を行っています。

問 被災園芸産地改植等支援事業費補助金の事業内容は。

答 県の単独事業として令和5年梅雨前線豪雨により被災された農業者に対し、営農の再開に必要な種や肥料代などの生産資材の購入経費の2分の1を支援する事業であり、イチゴ農家2件、アスパラ農家7件、青ネギ農家5件、露地野菜農家1件の計15件の農家に対し支援を行いました。

問 大川看板商品開発・PR事業補助金の成果と今後の進め方は。

答 4年度から開始した当事業では、タレ付け唐揚げの開発により4年度に9店舗、5年度に2店舗が新たに加わり、事業開始前の2店舗を含めて提供店は、計13店舗

となっています。大川木工まつりや大野島で開催されるシマンマルシェなどの市内のイベントへの出店や、中津市の唐揚げフェスティバルにも参加していただいております。引き続きPRを行っていきます。

問 大川市地域公共交通協議会負担金の内容は。

答 現在、赤字路線バスの運行に市がかなりの補助を行っており、国からも交付税として負担していただいておりますが、国の指導により法定協議会を立ち上げて地域公共交通計画を策定しなければ、今後、バス事業者が国からの補助を受けられなくなるため、5年度に大川市公共交通協議会を設置しました。今後、この協議会で市の公共交通についてどのような政策を行うかを協議してきます。なお、今年度に限り、大川市地域公共交通計画策定費用を負担しています。

問 大川中央公園をはじめとした本市の緑化推進は。

答 大川中央公園リニューアルのコンセプトは、開放感あふれる都市公園であり、現在、新たな植栽については考えていません。緑化推進事業のメインとなるものは大

川市生垣づくり奨励補助金であり、昨年度は1件の補助を行いました。その他、市の予算以外に緑の募金を活用した事業を行っており、具体的には、地域からの申請に基づき、苗木等の配布を行っています。5年度の実績では、行政区や学校等から21件の申請があり、73万2千389円分の苗木を配布し、地域の緑化推進に努めています。

問 教育相談・不登校対策事業に關し、高校進学についてはどのような支援を行っているか。

答 5年度から始めた不登校兆候を示す子どもとともに歩む会において、子どもと保護者を招いて、定時制高校の先生などに来ていただき、説明やいろいろな話をしていただいております。30名ほどの親子の参加があり、進路に非常に関心を持たれています。今後も先進地の取組なども参考にし、よりよい支援を行っていきます。

問 市で行う教育相談などは、中学校を卒業するまでの児童・生徒が対象なのか。そうであれば、中学校卒業後の子どもたちの不登校などの教育相談窓口は。

答 市の教育相談は中学校までで

すが、いろいろな相談窓口があることをお知らせしています。また、福祉事務所で「りらつくすペーす」を開設しており、中学校を卒業した子どもたちも受入れができるため、市全体で連携して、支援を行っていきます。

問 「おおかわ寺子屋」に關し、現状と成果及び今後の課題は。

答 地域学校協働活動事業の一環で行われている「おおかわ寺子屋」事業は、大川桐英中学校と大川桐薫中学校の放課後を活用し、学校の施設内に中学生が集まり、地域の方や大学生ボランティアの支援を受けながら自主学習や宿題を行っています。中学生の参加人数は165名で、全校生徒の25％に達し、4年度より参加者は増えています。有償の支援員の謝金は全体で27万円程度であり、延べ142名の支援員に参加いただいております。支援員の数に不足は感じていませんが、中学生と地域の人たちとの関わりが、今後の地域コミュニティにも影響を与えると考えるため、今後も多くの方に参加を呼びかけ、より充実した支援体制をつくっていきます。

総括意見・要望

○人口減少、高齢化のさなか、自主財源をどう確保するかが大きな課題である。「大川の駅」にしても、大川市が生き残るための賑わいをもう一度取り戻そうということであり、市民に対してしっかりとその部分の説明をお願いしたい。○今回の決算において、民生費が増加しており、重層的支援体制の必要性を強く感じた。相談体制の充実や横の連携の強化など、今後市民にしっかりと寄り添った支援体制の構築をお願いしたい。

○大川市は今後、さらに農業政策に力を入れるべきであると感じた。まさに農業は男女共同参画であり、男性、女性どちらも頑張っている。女性ももっと前に出られるようになればと思う。ぜひ農業関係者には頑張っていたきたい。

○地域も市役所も明るく笑顔になることが一番大事だと思う。子どもたちのために、将来のある人たちのために、何をするかが私たちの課題であり、どのようにすれば人を呼べて、賑わいをつくることができるのか、みんなが笑顔になるよう頑張っていきたい。

懲罰特別委員会

付託された懲罰動議は

可決されました

永島幸夫議員に対する懲罰動議
(継続審査分)

【経緯】

6月21日に行われた一般質問において、無礼な言葉を発し、また議会の品位を損なう発言を行ったとして、永島幸夫議員に対する懲罰動議が提出され、懲罰特別委員会が設置されました。付託された懲罰動議（議案）は、慎重審議を行うため、継続審査となりました。

【動議の提案理由】

議員が議会において「無礼の言葉」を使用することは、地方自治法第132条により禁じられ、大川市議会会議規則第150条に「議員は議会の品位を重んじなければならぬ」と規定されている。永島幸夫議員の発言はこれらの規定に抵触するため、懲罰を求める。

【委員会審査】

6月21日に第1回委員会を開催し、その後、閉会中の審査も含め、計10回の委員会を開催しました。

委員会では、議会の秩序維持のため、本人に法令遵守について分かってもらうことが大切である、本人の反省につながる懲罰を検討しなければならないなどの意見が出され、慎重審議の上、9月11日に、「懲罰に科すべきであり、公開の議場における陳謝が妥当である」と賛成全員で可決しました。

【本会議の採決】

9月定例会初日に中間報告がなされ、同会最終日に審査結果として、「陳謝の懲罰を科すべき」と決した旨の委員長報告がなされました。また、委員長報告では、委員会の総意として、「永島幸夫議員に対し、今後、議会人として、地方自治法及び大川市議会会議規則の諸規定を遵守することを強く求める。永島幸夫議員が真摯に反省し、二度とこのようなことが起こらないことを願う。」と報告されました。

委員長報告の後、討論、採決の結果、「公開の議場における陳謝の懲罰を科す」ことが賛成多数で可決されました。議長により懲罰の宣告が行われ、永島幸夫議員は、議決された陳謝文を朗読しました。

【陳謝文】

私、永島幸夫は、令和6年6月21日、市議会定例会の一般質問で、地方自治法第132条及び大川市議会会議規則第150条に抵触する「無礼の言葉」を使用し、その他議会の品位を損なう発言をしました。

議場内での特定の人に対する誹謗中傷や不特定多数の人に不快感を与えるような発言については、今回だけでなく、過去にも再三にわたり注意を受け、発言の訂正や取消しをし、さらには議場及び議会だよりにて謝罪を行ったにもかかわらず、再びこのような事態に至ったことは、議会人としての自覚に欠け、自身を恥じて猛省しております。このことにより、大川市議会の秩序を乱し、円滑な議会運営に支障を及ぼしたことは誠に申し訳なく、市長はじめ執行部の皆様、並びに市議会議員の皆様方はもとより、多くの市民、関係各位に不快な思いをさせました。

ここに深くお詫び申し上げますとともに、このような事態を起こし、処分を科せられることは当然のことであり、これを真摯に受け止め、二度とこのような発言をしないことを誓い、謹んで陳謝いたします。皆様、本当に申し訳ございませんでした。

令和6年9月20日

大川市議会議員 永島 幸夫

一般質問 市政を問う!!

一般質問の映像は、ホームページでご覧いただけます。



9月5日

- ◎一般質問とは、議員が市政全般について市長など執行機関の考えをただし、報告や説明を求めることです。
- ◎詳細は会議録（今回の会議録は、12月頃からホームページ、図書館、各コミセンにて公開）またはインターネット議会中継をご覧ください。

9月5日						
氏名	宮崎 稔子	龍 誠一	内藤 栄治	永島 守	永島 幸夫	西田 学
質問の要旨	1 大川リビルディング事業とは	1 「大川の駅」事業の経過について	1 「大川の駅」事業について	1 地方議会政治における政策推進について	1 「大川の駅」の計画について(第14弾) 2 小学校トイレ大便器洋式化について 3 道路上に於ける動物死骸の撤去について	1 「大川の駅」(仮称)について



「大川の駅」事業の経過について

龍 誠一 議員

問

「大川の駅」について、大野島に建設反対の立場で一般質問を行う。いつ、どのような会議で場所を大野島と決定したのか。

答

植木元市長時代から、いろいろな国道バイパスの沿線活用を図る目的で、道の駅の整備について、検討や勉強会等を行ってきたが、農振地域も多く、関係する土地利用の状況が分からないため、方針決定はできませんでした。

その後、鳩山前市長が平成25年に就任し、引き続き勉強会等や研究、検討を行っていました。そして、平成27年10月の経営会議において、道の駅、川の駅の場所を大野島とする方針を執行部内で決定しました。この会議には、市三役、人事、総務、企画の課長及び当時この案件に関係する建設課長、計7名が出席しました。規程に定められた正式な協議機関であり、市

問

「大川の駅」の総事業費は、

答

「大川の駅」のハード整備費についてお答えします。公募により、道の駅、川の駅の整備を行う第1期事業のハード整備費が最大

約41億8千万円、公募外の展望デッキ整備が約8億3千万円の合計約50億1千万円を予定しています。すでに支出済みの用地取得費と現在施工中の地盤対策工事費を合わせた約5億4千万円を加えた現時点での第1期事業ハード整備費の見込額は約55億5千万円です。これと、第2期事業として整備を行う広域的地域振興拠点機能施設の施設整備費を合計したものが、「大川の駅」事業のハード整備事業費としての総事業費見込額です。現在、第2期事業については、運営主体やその役割を各関係機関と協議し、検討を進めています。



大川リビルディング事業とは

宮崎 稔子 議員

問

3年間のデジタル田園都市国家構想交付金を活用して行っている大川リビルディング事業とは、どのような内容か。また、なぜ今この事業を行う必要があるのか。

答

昨今、コロナ禍を乗り越え、円安の影響もあり、多くの外国人観光客が日本を訪れています。また、商品をインターネットで購入する消費者の割合は年々増加しています。一方で、生産コストが上昇しており、本市のインテリア関連事業者の販売市況は厳しい状況が続いています。このような社会の変化に強いまちづくりを進めるためにこの事業を行っています。本事業では、新たなマーケットへの船出、価値の再発見と発信、持続性と迅速性を持つ組織の構築の3つの基本理念を掲げています。現在、4つの重点施策として、小保・榎津藩境のまちなみの観光ま

ちづくりとインバウンド誘客、食に関する商品・メニュー開発、リバーサイド観光の活性化、市場開拓に取り組んでおり、施策ごとに官民連携のワーキンググループを組織し、事業を進めています。

成長に向けて、近隣市町や、国、県と信頼関係を築き、財政の立直しを実現した倉重市長は、これからの大川市をどのようにリビルディングしようとお考えか。

答

人口減少はどのまちも共通の課題であり、将来に向けてにぎわいと稼ぐ力を残すことが重要だと考えています。今からは、卸業界の皆様だけに限らず、一般消費者や観光客、外国人観光客など多様な客層を惹きつけるまちづくりが必要だと考えています。変化に対して前向きなまちを皆様と一緒につくっていききたいと思っています。



「大川の駅」事業について

内藤 栄治 議員

問

地盤対策工事については、プラスチックボードドレインの施工後、排水に関し、サンドマットから水平ドレイン工法に変更することだが、どの程度減額されるのか。また、その減額措置は。

答

設計金額としては、約2千万円の減額になると考えています。当初の設計内容から変更があり、減額になる場合は、契約変更手続を行い、契約金額を変更します。

問

年間100万人の来場者とは、どこから数字が出てきたのか。

答

道の駅基本計画に記載されている100万人は施設規模を算定、決定するに当たって出した数値です。現在、公募中ですが、今後決定した民間事業者としっかりと協議したうえで、目標値等を出していくこととなります。

問

大川商工会議所の研修会での倉重市長の説明資料では、1期事

業のハード事業費は50億円で、将来の純粋な市負担は8億円、ふるさと基金25億円を使うとされているが、これはいつ決まったのか。

答

当然のことですが、毎年度、3月議会で審議いただき、翌年度予算は決まります。その資料は、頑張つて財源を貯めていることを示したものです。なお、今後貯める分は書いていません。

問

市ホームページに、ふるさと納税の使い道として5つの事業（学力向上、移住・定住促進、高齢者支援、子育て支援、産業振興）が掲載されており、「道の駅」とは書かれていないが。

答

事細かに使い道をお示しして寄附をいただいているわけではありません。これまで子育て支援等に使ってきましたので、今あるふるさと基金は、産業振興に使いたいと思っています。



地方議会政治における政策推進について
永島 守 議員

問 倉重市政2期8年において、財政健全化、子育て支援施設や二つの統合中学校建設、新たな税収を得るための日々を重ねられたことは誰もが認めるところである。倉重市長にこれまでの振り返りと政策推進への思いを伺う。

答 市長に就任し、最初に感じたのは財政の厳しさでした。しかし、先達の努力の上に全力で財政健全化に取り組んできた結果、基金残高は引継ぎ前から31億円以上増加し、本年5月末現在、合計61億2千万円となりました。これには、ふるさと納税の寄与も大きいですが、国、県の大きな支援があったからこそと大変感謝しています。

このように、行政経営は知恵や工夫、職員の努力によって改善できても、地域経済や地域の活力の向上はそうはいきません。地域経済の向上には人々や企業の増加が

不可欠です。少子高齢化の進展を止めるのは容易でない中、市外から多くの人や企業を呼び込み、地元企業も広い世界でビジネスを行う必要があります。そのため、「大川の駅」やリビルディング事業は、ほかにはない魅力で多くの人が集まり、にぎやかな拠点をつくり、まち全体に元気を広げていくために取り組むべき事業です。

また、時間と空間を俯瞰して見ますと、有明海沿岸地域は今後大きく飛躍する可能性に満ちています。現在、佐賀空港の滑走路延長や有明海沿岸道路の延伸が進められています。8月には長崎・佐賀・福岡・熊本4県の環有明海的首長間で有明海沿岸振興会議を設立しました。環有明海に満ちあふれるわくわくを市民の皆様と共有し、大川市とこの地域の発展のため、全力で取り組んでいきます。



「大川の駅」(仮称)について
西田 学 議員

問 経営会議、政策調整会議、幹部会は、執行部上層部の重要な会議と聞いている。議事録として音声だけでも残せないか。

答 最近、経営会議、政策調整会議は開催していませんが、今後、協議の内容や結果等をどのように残していくのか検討していきたいと思っています。幹部会については、各幹部が所属職員に幹部会報告を行っていただきます。人事秘書課でも、幹部会報告として、議事録に代わるような書類を残しています。

問 ふるさと基金が25億円あるとのことだが、これは市の負担では、

答 このふるさと基金は、全国の皆様からのご寄附を基金として積み立てているものです。ふるさと寄附金は、活用目的が条例で定められており、その目的に沿って使わせていただくことになっていきますので、市が負担するとの表現は

適当ではないと考えます。

問 南側の民間事業用地に、例えば企業誘致でホテルが来るとして、そのホテルが10階建てだとしたら、相当の地盤対策が必要と思われるが、その場合、費用は市の負担か。

答 市が行う盛土や地盤改良の一次造成とは違い、二次造成は、進出する企業にそれぞれの建築物にに応じて建設のための造成工事等を行っていただきます。建築物により、違いは出てくると思いますが、企業側で負担していただくように考えているところです。

なお、これまで企業と面談した中で、地盤造成に対して、支援を要望されたことはありませんが、建設に係る費用で、市の支援は何かないですかとお尋ねがありました。その際は、昨年9月議会で承認いただきました新しい奨励制度の活用をご案内しています。



「大川の駅」の計画について(第14弾)
永島 幸夫 議員

問 市が「大川の駅」事業に採用するDBO方式とは。

答 DBO方式とは、公共施設の整備運営方式の一つで、デザイン・ビルド・オペレーターの略で、設計、建設、維持管理、運営を一括して発注するものです。

この方式は、整備する公共施設の寸法や形状、提供されるサービスの内容などを具体的に定めて発注する従来方式の仕様発注ではなく、施設やサービスについて求める水準を定める性能発注です。

このため、民間事業者の創意工夫やノウハウを最大限に引き出すことが可能になりますし、設計段階から、運営主体の意見を反映することができなどのメリットがあります。

問 日本全国で、DBO方式を採用し、道の駅の事業で成功している市はあるか。

答 まず、道の駅の成功とは、どのような指標で測るのかというところがあるかと思いますが、売上や集客ということであれば、成功している道の駅は全国多々あると思います。

現在、DBO方式を採用し、道の駅を整備している事業は、全国的にも類例は限られます。全国で、DBO方式での成功例があるかについては、成功している例がないという意味ではなく、調査を行っているわけではないため、資料として把握しているものはございません。

問 大川市は、DBO方式の採用で、日本国内でも先端を行こうとしているのか。

答 DBO方式の事業として道の駅を整備するのは、一番目の例ではありませんが、比較的、先進の事例ではないかと思っています。

議決結果一覧		「○」… 賛成 「●」… 反対 「※」… 退席 「欠」… 欠席 議長は可否同数の場合以外は表決に参加しません														
付託委員会	9月定例会に付された案件 表決が分かれた案件のみ記載しています。また、議案名は一部省略して記載しています。	議決結果	議長 遠藤 博昭	総務委員会				文教厚生委員会				産業建設委員会				
				永島 守	宮崎 稔子	永島 幸夫	永尾 学	平木 一朗	箴島かおる	龍 誠一	西田 学	宮崎 貴仁	川野栄美子	馬淵 清博	内藤 栄治	古賀 寿典
	議案第53号 工事請負契約の締結について	可決		○	○	○		○	欠	○	●	○	○	○	○	○
懲特別	議案第40号 永島幸夫議員に対する懲罰動議	可決		○	○	※	○	○	欠	●	●	○	○	○	●	○

※永島幸夫議員は一身上に関する件であるため退席

【議案第40号】

反対
討論

・市長が署名を受け取らなかったことに対して、あのような発言をされた。議場は討論の場であり、議論の場である。私も勇気をもって発言しているので、いろいろな発言を押さえつけるべきではない。

賛成
討論

・永島幸夫議員はこれまでも多数のルール違反の発言を行ってきた。議会運営委員会から申し込んだ市長への謝罪も不十分だった。一般質問で謝罪の言葉が期待されたが、逆の発言があったことを遺憾に思う。議員はルールを守り発言すべきであり、真摯に反省していただきたい。

次の市議会定例会は、

開会日を12月2日(月)、一般質問を12月5日(木)、6日(金)に予定しています。

インターネットによる議会中継も行います。

「パソコン・スマートフォン・タブレット」で議会映像を視聴できますので、ぜひご家庭でご覧ください。

大川市HPの「市議会」バナーを押す。

市議会

city council

市議会HP下部の「インターネット中継」を押す。

関連リンク

インターネット中継 (外部サイトにリンクします)

大川市議会「インターネット中継」から視聴できます。

ホームページアドレス

<https://www.okawa-city.stream.jfit.co.jp/>



QRコードを読み取ると、映像配信を簡単にご覧いただくことができます。



QRコードは、(株)デンソーウェブの登録商標です。



大川市議会

検索

なお、議会の日程は変更になることもあります。詳しくは、議会事務局にお問い合わせください。(TEL 85-5622 直通)

行政視察受入れ報告

宮崎県小林市議会

10月9日に宮崎県小林市議会の市民厚生委員会の一行(7名)が、本市子育て支援総合施設「モッカランド」を行政視察されました。

この中で、施設運営に関する課題、プライバシーへの配慮、子育てに関する相談、モッカランド子育てサポーターの募集及びクッキングルームの事業内容や稼働率等について説明を行い、活発な質疑が交わされました。



視察風景



委員 委員 委員 委員
永古馬西
島賀洲田
幸寿清
夫典博学

編集
広報委員会

～議員の寄附行為禁止について～

●贈らない! ●受け取らない! ●求めない!

- ・政治家に対する寄附の勧誘、要求の禁止
- ・政治家の関係会社等の寄附の禁止
- ・後援団体の寄附の禁止
- ・あいさつを目的とする有料広告の禁止
- ・年賀状等のあいさつ状の禁止
(答礼のための自筆を除く)

(例) お中元、お歳暮、お祭等への差入れ、入学祝、卒業祝、うちわ、カレンダー、葬式への花輪や供花、枕花、祝花など

※公職選挙法により、選挙区内における寄附行為は禁止されています。

(問) 選挙管理委員会 TEL 85-5565

